

4 世帯の居住状況

(1) 世帯の持ち家の割合

若いうちから持ち家志向が高い

主世帯 401,900 世帯のうち、持ち家に居住する主世帯は 301,100 世帯で、主世帯全体に占める割合は 74.9%（全国 60.9%）となっている。

「持ち家の割合」＝ 持ち家に居住する主世帯数／主世帯数 ＝ 301,100 世帯／401,900 世帯

図 11 世帯の年間収入階級別持ち家の割合－富山県(令和5年)

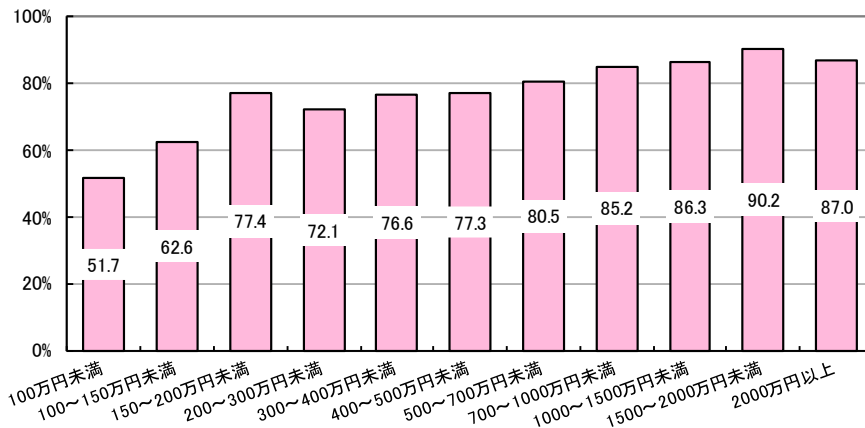
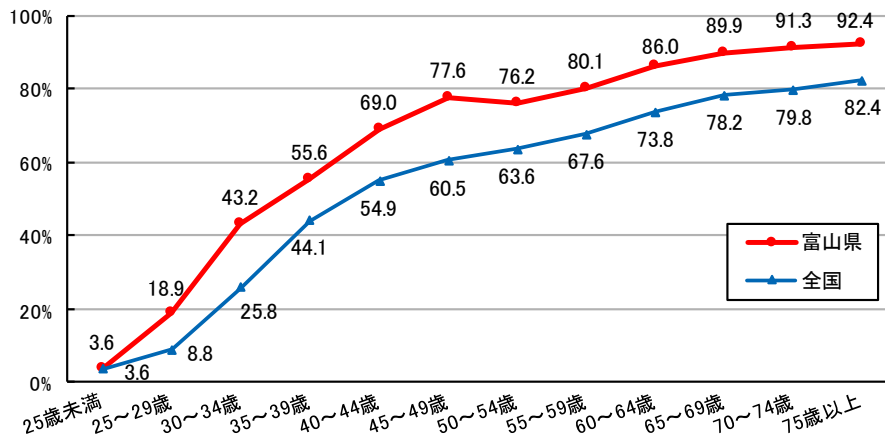


図 12 家計を主に支える者の年齢階級別持ち家の割合－富山県、全国(令和5年)



世帯の年間収入階級別に持ち家の割合をみると、「100～150万円未満」で62.6%、「500～700万円未満」で80.5%、「1,000～1,500万円未満」で86.3%などとなっている。年間収入が高くなるほど、持ち家の割合は高くなる傾向にある。

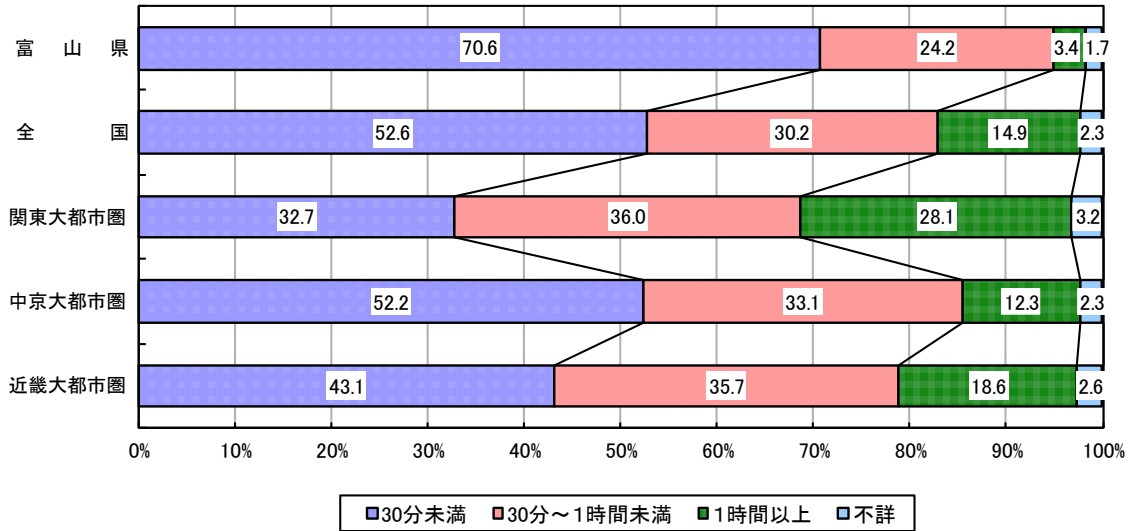
また、家計を主に支える者の年齢階級別にみると、年齢階級が高くなるほど、持ち家の割合は高くなっている。「25～29歳」で18.9%（全国8.8%）、「30～34歳」で43.2%（同25.8%）、「35～39歳」で55.6%（同44.1%）など、全国に比べ、若いうちから持ち家志向が高くなっている。

<図 11、図 12>

(2) 通勤時間

通勤時間 30 分未満の世帯は 7 割

図 13 家計を主に支える者(雇用者)の通勤時間別割合－富山県、全国、3大都市圏(令和5年)



家計を主に支える者が雇用者である主世帯 190,100 世帯について、家計を主に支える者の通勤時間別にみると、「30 分未満」が 134,300 世帯で全体の 70.6% (全国 52.6%)、「30 分～1 時間未満」が 46,000 世帯で 24.2% (全国 30.2%) などとなっている。本県では、通勤時間 30 分未満の世帯が全体の約 7 割を占めており、全国や 3 大都市圏と比べ、大幅に短くなっている。

<図 13>